



KONICA MINOLTA

コニカミノルタホールディングス株式会社
2013年（平成25年）3月期 第1四半期 株主通信 PDF

コニカミノルタ ホールディングス株式会社

2013年（平成25年）3月期 第1四半期 株主通信

業績予想などに関する内容について

この株主通信に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来の業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素によりこの株主通信の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2013年3月期第1四半期の連結業績の概要をこのウェブサイトを通じてご覧いただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第1四半期連結累計期間(2012年4月1日から同年6月30日までの3ヵ月)における当社グループの売上高は1,893億円、営業利益は63億円、四半期純利益は1億円となりました。当期間は、とりわけユーロに対する為替レートが前年同期に比べて15円近い円高となったため、売上高では79億円、営業利益では41億円の為替換算によるマイナス影響を受けましたが、前年同期比で増収増益を確保することができました。社内計画に対しても若干上回るペースで進捗しており、第1四半期としては順調なスタートを切れたものと認識しております。

事業別に概観しますと、情報機器事業では、オフィス分野、プロダクションプリント分野とも当期間の販売台数は前年同期を上回る水準となりました。産業用材料・機器事業では、液晶偏光板用TACフィルムが前年同様の好調さを維持したほか、HDD用ガラス基板やレンズユニットの販売も総じて上向きました。また、デジタル一眼レフ用交換レンズや光源色用計測機器など高付加価値製品も順調に推移しました。ヘルスケア事業では、デジタルX線画像診断システムの販売台数が前年同期を上回りました。本年4月に、機能性フィルム系の新規事業や新商品の育成と光学系事業の収益力強化を目的に、新しいセグメントとして「産業用材料・機器事業」のもとでグループ内関連組織を再編しましたが、当期間においては、その成果が早くも顕在化し、同事業の増収増益がグループ収益を強く牽引しました。

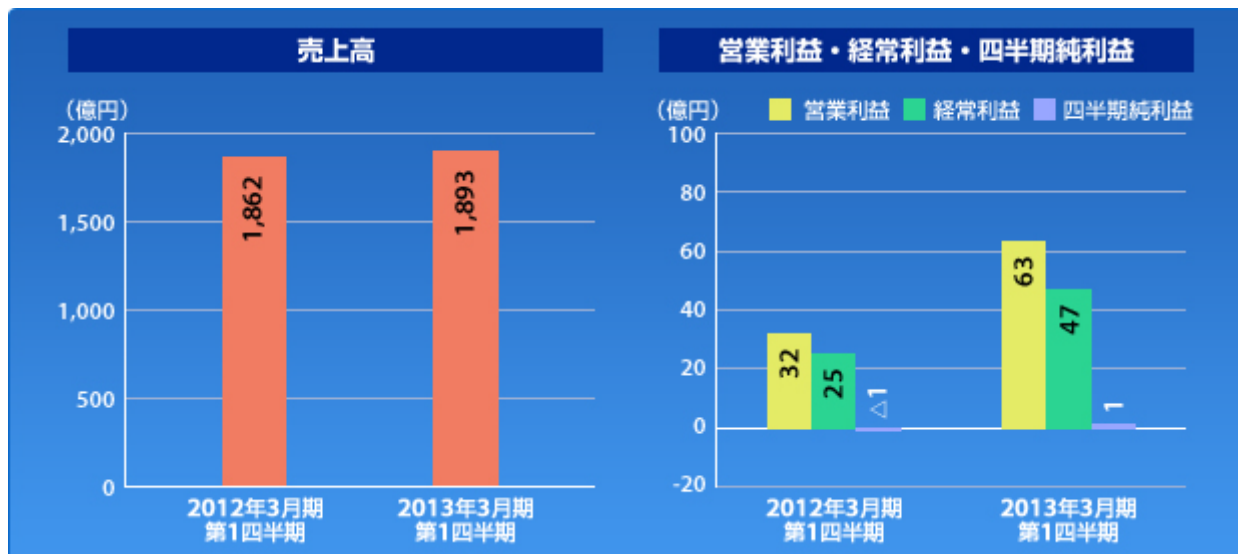
欧州の債務問題など国内外における経営環境は未だ予断を許さない状況が続きますが、当期業績目標の達成に向けて、グループ一丸となって引き続き諸施策の取り組みを着実に進めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年9月
コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長
松崎 正年

ハイライト

(単位: 億円、未満切捨)

	2013年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減
売上高	1,893	1,862	31
営業利益	63	32	30
経常利益	47	25	22
四半期純利益(△は損失)	1	△1	2



(単位: 億円、未満切捨)

	2013年3月期 第1四半期末	2012年3月期末	増減
総資産	8,765	9,020	△255
負債	4,555	4,670	△115
純資産	4,209	4,349	△139



(単位:億円、未満切捨)

	2013年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8	119	△128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154	△113	△40
フリー・キャッシュ・フロー	△162	6	△169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4	△14	9

想定以上の円高の中、産業用材料・機器事業での収益改善・拡大が寄与し、増収増益を達成。

売上高	1,893 億円 (前年同四半期比 +1.7%) (為替影響除く +6.0%)	営業利益	63 億円 (前年同四半期比 +93.8%) (為替影響除く +220.8%)
経常利益	47 億円 (前年同四半期比 +87.3%)	四半期純損益	1 億円 (前年同四半期比 +2億円)

売上高・営業利益:

情報機器事業では、オフィス分野、プロダクション分野ともに前年からの販売モメンタムを維持し、当期間の販売台数は前年同期を上回る水準となりました。産業用材料・機器事業では、視野角拡大用VA-TACフィルムや薄膜タイプの液晶偏光板用TACが前年同様の好調な販売が続いたほか、タイの大規模洪水及びデジタル家電全般での生産調整の影響が解消したHDD用ガラス基板やデジタルカメラ用・カメラ付携帯電話用レンズユニットの販売も総じて上向きしました。ヘルスケア事業では、デジタルX線画像診断システム、フィルム製品とも前年同期を上回る販売数量を確保しました。当期間はとりわけユーロに対する為替レートが大幅な円高となったため、為替換算によって79億円の減収影響を受けましたが、前年同期比増収を確保しました。

営業利益は、高採算な主力製品の販売増加に伴う売上総利益増等により、円高による減益影響41億円を吸収し、大幅増益となりました。

経常利益:

円高に伴う為替差損の発生等により47億円(前年同期比+87.3%)となりました。

四半期純利益:

税金等調整前四半期純利益は、一部老朽設備に係る固定資産除売却損7億円を特別損失に計上したこと等により、39億円となりました。四半期純利益は、前年同期の1億円の損失から1億円の利益となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

【情報機器事業】

<2012年4月1日～2012年6月30日>

売上高

1,303 億円

(前年同四半期比 △2.8%)
(為替影響除く +2.7%)

営業利益

30 億円

(前年同四半期比 △16.3%)
(為替影響除く +90.7%)

オフィス分野

米国及びアジア等の新興国市場での販売拡大が牽引し、当期間の販売台数はカラー機、モノクロ機ともに前年同期を上回りました。また、グローバル規模で体制強化を進めているOPS(オプティマイズド・プリント・サービス)の成果として、東中欧地域最大級のフィナンシャルグループであるErste Group Bank AG(本社:オーストリア)との契約更改により、当社をシングルサプライヤーとして10カ国を対象にした新たなグローバルOPS契約を受託しました。

プロダクションプリント分野

カラー機は欧州、モノクロ機では新興国での販売増が貢献し、当期間の販売台数は前年同期を上回りました。また、ドイツにおいて5月に開催された印刷業界最大の展示会「drupa 2012」では、カラー機及びモノクロ機の次期新製品を勢力的に出展し、お客様から高い評価を頂きました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

【産業用材料・機器事業】

<2012年4月1日～2012年6月30日>

※ 産業用材料・機器事業:従来のオプト事業に計測機器事業及び有機EL照明など機能材料系の新規事業を統合。前年同期比は、参考情報として前年度実績を新セグメントの区分に読替えて算出しています。

売上高

405 億円

(前年同四半期比 +20.7%)

営業利益

81 億円

(前年同四半期比 +123.4%)

ディスプレイ材料分野

当社の強みである薄膜タイプの製品が韓国及び台湾の有力顧客から支持され、VA-TAC、通常TACフィルムともに当期間の販売数量は前年同期を上回りました。

メモリー分野

HDD用ガラス基板はタイ洪水の影響も解消し、500GB対応の製品出荷も本格化し、当期間の販売数量は前年同期を上回りました。光ディスク用ピックアップレンズは、DVD用の回復が牽引して全体の販売数量は前年同期を上回りましたが、ブルーレイディスク用は市況が好転せず低調な状況が続きました。

画像入出力コンポーネント分野

デジタルカメラ用・カメラ付携帯電話用レンズユニットの販売は、生産調整の解消や搭載製品の拡大等により、総じて前年同期を上回りました。またデジタル一眼レフ用交換レンズやデジタルシネマ用プロジェクションレンズなど高付加価値製品の販売も順調に拡大しました。

計測機器分野

LED照明モジュールやディスプレイパネルの生産ラインで品質管理に使われる色彩照度計「CL-200A」など光源色用計測機器の販売が好調に推移しました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

売上高

158 億円

(前年同四半期比 +1.9%)

営業損益

△1 億円

(前年同四半期比 3億円の改善)

当事業では、カセット型DR(デジタルラジオグラフィー)「AeroDR(エアロディーアール)」や回診車向けDR、卓上型CR(コンピュータードラジオグラフィー)「REGIUS Σ(レジウス シグマ)」等のデジタルX線画像診断システムを国内外の医療施設に向けて拡販に注力し、当期間の販売台数はDR、CRとも前年同期を上回りました。フィルム製品は海外での販売増が貢献し当期間の販売数量は前年同期を上回りましたが、国内は減少が続きました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

財政状態

資産の部



流動資産は、棚卸資産や繰延税金資産が56億円増加した一方で、現金及び現金同等物として165億円、受取手形及び売掛金で93億円の減少等により、前連結会計年度末比197億円の減少となりました。固定資産では、有形固定資産は償却が進み50億円減少しましたが、無形固定資産は情報機器事業における企業買収によるのれん等により12億円増加しました。投資その他の資産は、投資有価証券等の減少により19億円減少しました。

負債・純資産の部



負債は、有利子負債が16億円増加した一方で、賞与引当金や未払金等の減少により、前連結会計年度末比115億円の減少となりました。純資産は期末剰余金の配当39億円や、為替換算調整勘定87億円等の減少により139億円の減少となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

経営関係



コニカミノルタホールディングスとコニカミノルタビジネステクノロジーズの本社を丸の内2丁目JPタワーに移転

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0717_01_01.html



情報機器の事業拡大と展開力強化を図るため、シンガポール及びアラブ首長国連邦(UAE)に地域統括会社を発足、ベトナム・トルコに販売会社、タイに事務所を新設

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0412_01_01.html



フェデックス キンコーズ・ジャパン株式会社を買収、キンコーズ・ジャパン株式会社へ

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0510_01_01.html



フランス ITサービスプロバイダー Serians社を買収

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0604_01_01.html

事業関係



生産工程で凹凸試料の色を非接触測定できる世界最速「高速非接触インライン測色システム」新発売

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0406_01_01.html

製品情報: http://www.konicaminolta.jp/instruments/web_magazine/pick_up/001.html



高画質出力と高生産性を両立しつつ高い環境親和性を実現した、高速モノクロ複合機「bizhub PRO 951」新発売

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0425_01_01.html

製品情報:

http://www.konicaminolta.jp/business/products/copiers/hi-speed_bw/bizhub_pro_951/index.html



クラウド・モバイル時代の「新しい働き方」を支援するA3カラー複合機『bizhub C554』シリーズ新発売

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0531_01_01.html

製品情報:

http://www.konicaminolta.jp/business/products/copiers/color/bizhub_c554_c454_c364_c284_c224/index.html



デジタル印刷システム「bizhub PRESS 1250 /1250P」「bizhub PRESS 1052」新発売

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0724_01_01.html

製品情報:

http://www.konicaminolta.jp/graphic/products/ondemand_print/bw/bizhub_press_1250_1250p_1052/index.html



フレッシュカラーのパルスオキシメーター「PULSOX-Lite」新発売

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0808_01_01.html

製品情報: http://www.konicaminolta.jp/instruments/products/medical/pulsox_lite/index.html

パルスオキシメーター知恵袋:

<http://www.konicaminolta.jp/instruments/knowledge/pulseoximeters/index.html>

CSR関係



グローバルな社会的責任投資インデックス「FTSE4Good Global」に9年連続で採用

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0511_01_01.html



「CSRレポート2012」を発行・WEBサイト上で公開

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0620_01_01.html

CSRレポート2012: <http://www.konicaminolta.jp/about/csr/csr/download/2012/index.html>



星出宇宙飛行士とのリアルタイム交信 宇宙×地球×「きぼう」プロジェクト
コニカミノルタPresents『天空未来教室』に協賛

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0706_01_01.html



チリ サンペドロ・デ・アタカマ市へプラネタリウム投映システム「メディアグローブ III」
を寄贈

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0806_01_01.html

その他



「知的財産報告書2012」をWEBサイト上で公開

プレスリリース: http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0709_01_01.html

知的財産報告書2012:

http://www.konicaminolta.jp/about/investors/earning/intellectual_property/index.html